

《履修上の留意事項》この授業ではGoogle Classroomを使用して授業資料の配布や出席確認を行います。

《担当者名》花渕 馨也 hanab@hoku-iryo-u.ac.jp

【概 要】

「病い」や「障がい」は生物医学的に決定されるだけでなく、人が生きる社会や文化のあり方とも深く結びついた広範な現象である。この授業では、現代社会において増加している「拒食症」、心の性と身体の性が一致しない性同一性障害などを含む「LGBTQ」、これら「食」と「性」という人間の基本的営みに関わる二つの問題についてとりあげ、病いや障がいを社会や文化の文脈において捉える医療人類学の視点から考察する。

【学修目標】

1. 病いや障がいを社会的・文化的に構築される現象として相対的に捉える医療人類学的視点と方法を説明できる。
2. 現代社会における人の生活と病いや障がいとの関係について広い視野から捉える能力を身につける。
3. 医療の基盤となる深い人間理解と、社会の未来を切り拓くための教養を養う。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	講義の目的と内容についての説明	花渕
2	人間にとって食とは？	食の人類史について説明できる。	花渕
3	病いの起源	人類進化と病気の関係について説明できる。	花渕
4	拒食症とは	拒食症の特徴と実態について説明できる。	花渕
5	グループワーク：なぜ拒食症が増えているのか？	現代社会における拒食症増加の環境要因について分析することができる。	花渕
6	器としての身体	拒食症患者の身体や食に対する歪んだ認識について説明できる。	花渕
7	現代社会と女性の身体	現代社会における拒食症増加の社会的・文化的要因について説明できる。	花渕
8	共食と孤食	フードスケープの変化と食事の社会的機能について説明できる。	花渕
9	ジェンダーとセクシャリティ	文化としての性の規定と境界の性について説明できる。	花渕
10	L G B Tとは	性別二元論と医療化について説明できる。	花渕
11	第三の性ヒジューラ	異文化におけるトランスジェンダー文化について説明できる。	花渕
12	残された課題と当事者の声	日本におけるL G B Tをめぐる課題と当事者が抱える苦悩について説明できる。	花渕
13	愛のかたち	LGBTの愛のかたちの多様性について説明できる。	花渕
14	ディベート：同性婚について	同性婚の問題について多角的な視点から分析し、発言できる。	花渕
15	全体のまとめ	講義全体のまとめ 病いや障がいを社会的・文化的文脈において捉える視野をもつことができる。	花渕

【授業実施形態】

面接授業

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

レポート100%

【教科書】

なし。資料をコピーして配布する。

【参考書】

波平恵美子著『からだの文化人類学』（大修館書店）

浮ヶ谷幸代著『身体と境界の人類学』（春風社）

池田光穂&奥野克己共編『医療人類学のレッスン：病いをめぐる文化を探る』（学陽書房）

磯野真穂『なぜふつうにたべられないのか』（春秋社）

そのほか授業において適宜紹介する。

【備考】

この授業ではGoogle Classroomを使用して授業資料の配布や出席確認を行います。

【学修の準備】

予習：講義で出された宿題を行う。予告された授業テーマについてインターネット等で調べておく（120分）

復習：講義内容についてのまとめを行う。講義で出された課題に取り組む。また、講義で取り上げた内容について、さらに自分で調べる（120分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3: 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

DP5: 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している